

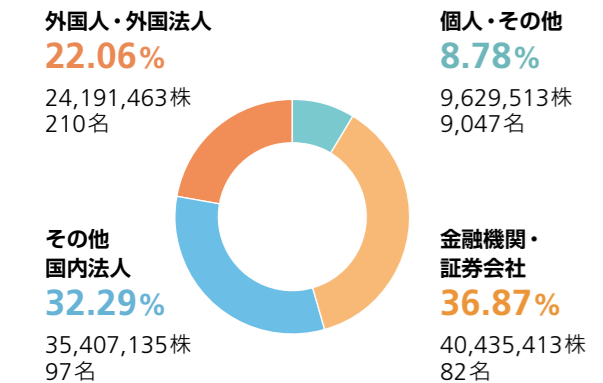
株式の状況

(2017年3月31日現在)

発行済株式総数 109,663,524株

株主総数 9,436名

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大日本印刷株式会社	20,727	18.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	12,352	11.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,644	6.97
農林中央金庫	4,653	4.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	3,413	3.11
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	3,007	2.74
三井物産株式会社	2,448	2.23
日本ユニシス従業員持株会	2,273	2.07
GOVERNMENT OF NORWAY	2,171	1.98
野村信託銀行株式会社 (投信口)	1,847	1.68

* 上記の他、当社は自己株式9,350,622株(持株比率8.52%)を保有しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 http://www.unisys.co.jp/com/notification/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード8056)

- 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や単元未満株式の買取その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行にお申し出ください。

Copyright © 2017 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.



Forest Stewardship Council® (森林管理協議会) の基準に基づき認証をされた、適切に管理された森林からの材料を含むFSC®認証紙を使用しています。



印刷時に、VOC (揮発性有機化合物) などを含まぬ湿水が不要となる水なし印刷を採用し、大気安全に配慮しています。



石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたベジタブルインキを使用し、VOC (揮発性有機化合物) を削減し、大気安全に配慮しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。

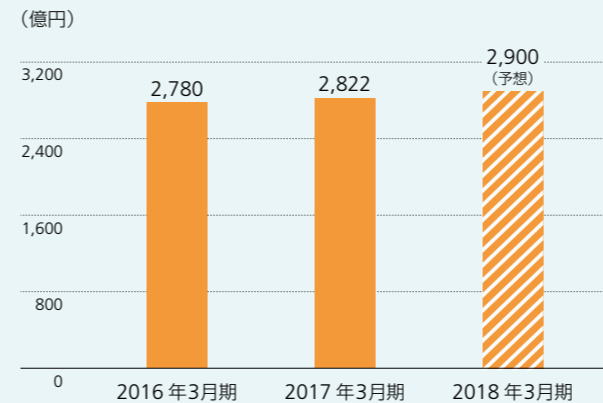
UNISYS 日本ユニシス株式会社



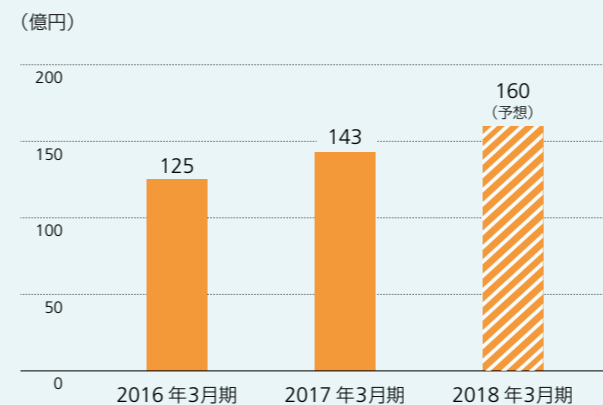
Foresight in sight

業績ハイライト

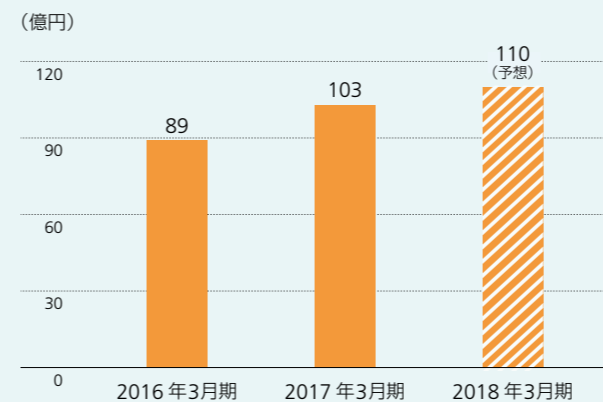
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



ごあいさつ



新たなサービスをつなげることで
ビジネスエコシステムを構築し、
社会課題の解決を目指します

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2017年3月期の業績は、増収増益となり、当期純利益につきましては、過去最高益を更新する結果となりました。

日本ユニシスグループは、2016年3月期よりスタートした3カ年の中期経営計画「Innovative Challenge Plan」において、ビジネスエコシステム創造のためのチャレンジと変革を推進しており、2年目となる2017年3月期は、その成果が着実に表れてきております。

中期経営計画の重点戦略につきましては、チャレンジ領域である「デジタルイノベーション」では、引き続き伸長している決済関連事業において新会社を設立するなど、事業のさらなるスピードアップに取り組んでおります。また、「ライフイノベーション」では、従来提供してきたさまざまな

サービス群が新しいつながりを形成し、社会課題の解決を目指すビジネスエコシステムの構成要素となっております。

変革領域である「ビジネスICTプラットフォーム」では、ビジネスモデルの変革を進めており、サービス型ビジネスへのシフトが順調に進んでおります。

これらに加え、オープンイノベーションによる新ビジネスの創出を加速させるため、投資戦略も着実に実行しております。

今後も事業を通じて社会に貢献したいと考えておりますので、株主のみなさまにおかれましては末永くご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2017年6月
代表取締役社長

平岡昭良

2017年3月期 連結決算のポイント

業績のポイント

売上高は、アウトソーシングおよびハードウェア売上が堅調に推移した結果、2,822億円(前期比1.5%増)となりました。利益面につきましては、アウトソーシングを中心に売上総利益が増加した結果、営業利益は143億円(同14.3%増)、当期純利益は103億円(同15.0%増)となりました。

財務のポイント

総資産は、商品残高の減少等により、前期末比4億円減少の1,927億円となりました。

負債は、前期末比ほぼ横ばいの1,019億円となりました。

純資産は、当期純利益計上による増加があったものの、配当金の支払や自己株式の取得等により、前期末比4億円減少の908億円となり、自己資本比率は46.7%となりました。

2018年3月期 業績予想と配当計画

2018年3月期の売上高は、2,900億円を計画しています。利益面については、営業利益160億円、当期純利益110億円をそれぞれ計画しています。

2018年3月期の配当につきましては、当期純利益110億円を前提に、1株当たり5円増額の年間40円(中間20円、期末20円)を計画しています。

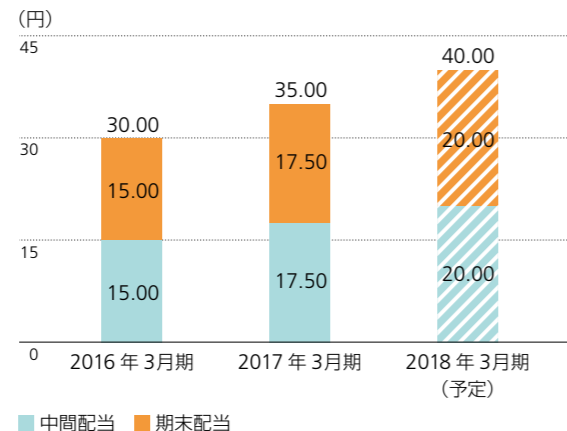
業績の推移

	2016年3月期	2017年3月期
売上高	278,039	282,249
売上総利益	64,610	66,727
販売費及び一般管理費	52,085	52,413
営業利益	12,525	14,314
経常利益	12,155	13,852
親会社株主に帰属する当期純利益	8,920	10,261

財務の推移

	2016年3月期末	2017年3月期末
流動資産	122,520	118,255
固定資産	70,574	74,439
資産合計	193,094	192,694
流動負債	75,273	76,448
固定負債	26,608	25,473
負債合計	101,881	101,921
純資産合計	91,213	90,772
負債純資産合計	193,094	192,694

株主還元(1株当たり配当金の推移)



株主通信 トピックス

中期経営計画「Innovative Challenge Plan」～ビジネスエコシステムの創造に向けて～

中期経営計画では、デジタルイノベーション、ライフイノベーション、ビジネスICTプラットフォームを重点戦略と定め、チャレンジと変革に取り組んでいます。

デジタルイノベーション

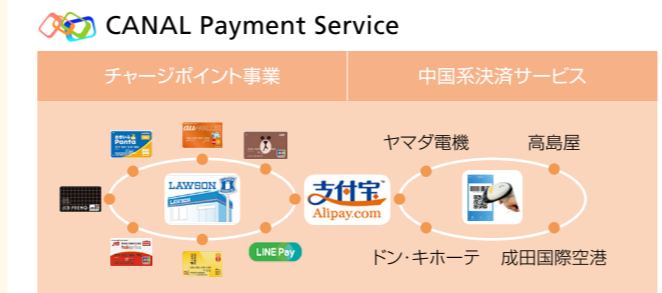
中国系決済サービスおよびチャージポイント事業を行う 新会社「キャナルペイメントサービス株式会社」を設立

日本ユニシスは、中国系決済サービス*1およびプリペイドカードなどへのチャージを行うチャージポイント事業*2について、よりスピーディーで積極的なビジネス展開を図ることを目的に、キャナルペイメントサービス株式会社を2017年3月に設立しました。

2011年6月に、当時から市場拡大が見込まれていた決済関連市場において、「バリューカード(ギフトカード/プリペイドカード)事業」にいち早く参入し、さまざまなパートナーと連携する「ビジネスエコシステム」の中核となって、新たなキャッシュレス社会の実現に取り組んできました。具体的には、バリューカード事業に加えて「中国系決済サービス」、「チャージポイント事業」、「決済連動マーケティング」、「国際ブランドプリペイド決済サービス」などを次々と展開しています。

*1 中国系決済サービス：2015年12月からオンライン決済サービス「支付宝®(Alipay®)」の提供を開始し、ヤマダ電機、高島屋、ドン・キホーテ、成田国際空港、全国のローソン店舗など、多くのお客さまにサービスを提供しています。

*2 チャージポイント事業：2015年7月から全国のローソン店舗で、「JCBプレモカード」へのチャージサービスを開始し、国際ブランドプリペイドカード発行会社への展開を進めています。



ライフイノベーション

三井不動産の法人向けシェアオフィス 「WORKSTYLING®」へ支援システムを提供

日本ユニシスは、三井不動産の法人向け多拠点型シェアオフィス「WORKSTYLING®」利用者向けに、会員情報の管理や予約から課金などを支援するシステムの提供を開始しました。また、本システムを支える「シェアリングビジネス プラットフォームサービス*」について、シェアリングビジネス事業者への販売も開始しました。

今回の「WORKSTYLING®」向けシステムへのプラットフォーム提供を皮切りに、さまざまな場所やモノをシェアする事業者向けに機能を追加・拡張し、未来のシェアリングエコノミーを支えるビジネスエコシステムの構築を目指します。

*シェアリングビジネス プラットフォームサービス：オフィス、駐車場、ホテル、レンタカーなど、さまざまな場所やモノをシェアする事業者には必須と思われる管理サービス機能(会員管理、予約管理、課金管理、テナント管理等)をクラウドで提供する日本ユニシスのSaaS型サービスです。

法人向け多拠点型シェアオフィス「WORKSTYLING®」



ビジネスICTプラットフォーム

次世代オープン勘定系システム「BankVision®」 新システムが大垣共立銀行で稼働開始

日本ユニシスと大垣共立銀行(OKB)は、「次世代オープン勘定系システム『BankVision®』」を中核とする新システムを開発し、2017年5月から稼働を開始しました。日本ユニシスとOKBは、オープン勘定系システム「BankVision®」とオープン国際勘定系システム「Open E'ARK®」へ同時移行する大規模プロジェクトを完遂、本システムの基盤にマイクロソフト社のWindows Server/SQL Serverを利用することで、銀行勘定系システムにおけるオープンシステム環境での稼働を実現しました。

今後も、「BankVision®」をさまざまな銀行の要求に幅広く対応可能なシステムとして、さらに販売体制を強化し、新たな受注を目指していきます。

次世代オープン勘定系システム「BankVision®」稼働実績



企業風土・ 人財改革

女性活躍パワーアップ大賞 「優秀賞」を受賞

日本ユニシスは、日本生産性本部主催「女性活躍パワーアップ大賞」において「優秀賞」を受賞しました。これは、在宅勤務制度を始めとするワークライフバランス施策による働きやすい環境整備とテレワークの拡大、および女性の視点・発想を活かした新規ビジネス創出支援などの取り組みが評価されたものです。

これからもダイバーシティ施策を推進し、変化し続けるビジネス環境で競争力を向上させ、持続的に成長し続ける企業を創っていきます。



株主のみなさまへ

アンケートご協力をお願い

株主のみなさまのご意見・ご要望を当社の投資家様向け広報活動に反映させるため、アンケートサイトを作成いたしました。大変お手数ですが、アンケートにご協力いただければ幸いです。

パソコンからアクセスされる場合

https://www.unisys.co.jp/inqsys/inquiry_form.html?product_id=1057

携帯電話・スマートフォンからアクセスされる場合

QRコード読み取り機能のついた携帯電話・スマートフォンをご使用の方は、こちらのQRコードからアクセスできます。

